

2025(令和 7)年度
【障害者福祉の基礎知識】

1 次の文は、憲法について述べています。下記の 1～4 の中から間違っているものを 1 つ選びなさい。

1. 国民の権利や自由を守る道具として憲法が存在している。
2. 憲法 14 条「法の下での平等」は「絶対的平等」ではない。例えば男女間の肉体的差異を考えて勤務条件に差異を設けたりするように、社会通念上合理的であれば許される。
3. 日本国憲法の三大原理は「国家主権」「平和主義」「基本的人権の尊重」である。
4. ひとくちに人権といっても自由権、参政権、社会権などあるが、福祉の問題は社会権に関係する。

2 次の文は、障害者差別解消法について述べています。()にあてはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記のの中から一つ選びなさい。

障害者差別解消法は「(A)」と「(B)」の2種類の差別が示され、A については(C)も(D)も禁止されているが B について行政は(E)、事業者は(F)とされていた。その後改正されてどちらも(E)になった。

1. (A)不当な差別的取り扱い (B)合理的配慮の不提供 (C)行政
(D)民間の事業者 (E)義務 (F)努力義務
2. (A)不当な差別的取り扱い (B)災害時における情報の不提供 (C)行政
(D)消防署 (E)義務 (F)努力義務
3. (A)合理的配慮の不提供 (B)不当な差別的取り扱い (C)行政
(D)民間の事業者 (F)努力義務 (E)義務
4. (A)障害を理由とした差別 (B)合理的配慮の不提供 (C)民間の事業者
(D)行政 (E)義務 (F)努力義務

3 次の文は、日本の社会福祉の歴史について述べています。下記の 1～4 の中から正しいものを 1 つ選びなさい。

1. 日本における社会福祉は戦前から国民の権利として障害者福祉制度があり、それに基づいて様々な福祉事業が行われていた。
2. 生存権保障のあり方をめぐって生活保護の基準内容について争ったのは田中訴訟である。
3. 福祉三法とは(旧)生活保護法、児童福祉法、身体障害者福祉法である。
4. 福祉サービスを利用する利用者の自己決定と契約を明確にしたのは2011年に改正された障害者基本法である。

4 次の文は、日本の障害者福祉施策の変遷について述べています。下記の 1～4 の中から正しいものを 1 つ選びなさい。

1. 国際障害者年のテーマとして掲げられたのは「更生を支える社会」である。
2. 1951年に制定された社会福祉事業法は 2000 年に社会福祉法に改正された。同時に8法が改正され「契約から措置へ」「施設福祉の推進」などの視点に立った新しい福祉サービスの時代に入っていった。
3. 介護には「自助」「共助」「公助」の三助があるとされ、社会連帯の考え方に立った支援が強調されている。
4. 支援費制度が破綻したのはサービスを提供する人が不足していたによるものであり、予算不足が原因ではない。

5 次の文は、社会福祉の概念について述べています。下記の 1～4 の中から間違っているものを 1 つ選びなさい。

1. 社会福祉とは「現代社会において人々の自立生活を支援し、その自己実現と社会参加を促進することを目指して展開されている、一定の社会的な施策の体系」とあるといえる。
2. 2001 年に WHO が発表した国際生活機能分類(ICF)は障害を「機能障害」「能力障害」「社会的不利」の三つのレベルでとらえている。
3. 障害者の自立生活運動は「ADL(日常生活動作)の自立」から「QOL(生活の質)の充実」へと変化している。
4. 2006年 12 月に国連総会において「障害者権利条約」が採択された。

【聴覚障害に関する基礎知識】

6 次の文は、難聴の程度について述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

0 dBとは(A)の聴者の閾値を基準に決められた値です。検査したすべての周波数で(B)の場合を「正常の聴力」といいます。静かなところで 1mほど離れた時の会話音は(C)です、したがって、平均聴力レベル(D)の人(身体障害者手帳 6 級相当)は、補聴器をはずすと会話音に気づかないということも起こってきます。

1. (A)20 歳前後 (B)40 dB未満 (C)約 70 dB (D)90 dB
2. (A)6 歳前後 (B)25 dB以上 (C)約 70 dB (D)90 dB
3. (A)20 歳前後 (B)25 dB未満 (C)約 60 dB (D)70 dB
4. (A)15 歳前後 (B)30 dB未満 (C)約 60 dB (D)70 dB

7 次の文は、耳マークについて述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「聞こえない」「聞こえにくい」ことを(A)に知ってもらうために考案されたマーク。(B)が、筆談など聞こえの保障を求めるため、自ら提示します。一部の医療機関や(C)の窓口にも設置されるなど、(D)ことへの理解を社会全体に求めるためにも使われています。

選択肢：

1. (A)自分 (B)難聴者自身 (C)行政機関 (D)話せない
2. (A)周囲 (B)難聴者自身 (C)行政機関 (D)聞こえない
3. (A)家族 (B)聞こえにくい人 (C)家庭 (D)見えない
4. (A)周囲 (B)聞こえる人 (C)団体 (D)見えない

8 中途失聴者・難聴者の支援サービスについて述べています。下記の1～4の中から誤っているものを1つ選びなさい。

1. 障害者の福祉サービスを規定しているのは障害者総合支援法である。
2. 自立支援給付のなかに、補装具給付事業があり補聴器購入の補助が含まれる。
3. 全難聴を中心に、聴覚障害の認定基準の引き上げを求める運動が取り組まれている。
4. 自立した地域生活を送るため手話や読話学習の場を設け、学習サポートとして要約筆記の配慮が必要である。

9 補聴器について述べています。下記の1～4の中から誤っているものを1つ選びなさい。

1. 補聴器をしていると、音の方向感が得られない場合がある。
2. 館内放送などは補聴器をしていても何を言われているのか理解できないことがある。
3. ピーピーという発信音を生じることがある。これをハウリングという。
4. 耳あな型補聴器は、他のタイプの補聴器に比べ大きな利得が得やすい。

10 次の文は、コミュニケーション支援について述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

コミュニケーションを確実に成立させるためには、(A)を認識し、意味を把握できるような(B)が求められます。(C)や意図の明確化、(D)に関する知識を持つ要約筆記者の、その場の状況や文脈を踏まえた適切な判断によるコミュニケーション支援が重要なカギになります。

1. (A)文字 (B)手話通訳 (C)文章の処理 (D)聴覚障害
2. (A)文字 (B)要約筆記 (C)話しことばの処理 (D)聴覚障害
3. (A)文章 (B)要約筆記 (C)話しことばの処理 (D)漢字
4. (A)文章 (B)文字変換 (C)機械による処理 (D)機械

11 次の文は、通訳としての要約筆記について述べています。下記の1～4の中から誤っているものを1つ選びなさい。

1. 音声情報の保障には、補聴器などを利用した聴覚による補償と、手話・読話・文字などを用いた視覚による情報とがある。
2. 聞こえないことにより情報から疎外されているという状況は、基本的な人権が守られていない状況であると言える。
3. 「通訳としての要約筆記」という視点は、サービスという考え方に立脚している。
4. 「要約筆記の三原則」は「速く、正しく、読みやすく」という言葉でまとめられている。

12 次の文は、ろう教育について述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1948年にろう学校が(A)となり、公教育としての聾学校の整備が進みました。1960年代には、補聴器の性能が向上して(B)が重視されるようになり、聴覚口話法に変わっていきます。ろうと難聴の分離により、(C)が開設されるようになりました。

一方で、口話法だけでは教育の成果が十分に得られないことを直視して、(D)を活用するなど学校側の変化もみられ、ろう教育が多様化していきました。

1. (A)義務制 (B)聴覚の活用 (C)難聴学級 (D)手話
2. (A)私立 (B)視覚の利用 (C)難聴学級 (D)口話
3. (A)公立 (B)音声 (C)普通学級 (D)手話
4. (A)義務制 (B)聴覚の利用 (C)支援学校 (D)口話

13 次の文は、『音から隔てられて』(岩波新書)について述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

この本は中途失聴・難聴者に、自らの障害に対する明確な(A)を与えることになりました。中途失聴者・難聴者は(B)のではなく、「隔てられている」と感じていると言えます。この「隔てられている」感覚は、音からだけでなく、結局のところ(C)を中心としたコミュニケーションから隔てられており、(D)から隔てられているというところにつながっています。

1. (A)定義 (B)音を失っている (C)音声 (D)人間関係
2. (A)定義 (B)音を失っている (C)手話 (D)自分
3. (A)役割 (B)声を失っている (C)音声 (D)自分
4. (A)役割 (B)声を失っている (C)メディア (D)情報

14 次の文は、聴覚障害者の社会参加について述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

障害者を差別する欠格条項のある法律の改正運動が全国的に展開され、2001 年には障害者を特定した(A)が撤廃されました。障害者雇用促進法も数度の改正を経て、2018 年4月からはさらに(B)も対象に加えられました。障害者の就労環境は、(C)の批准、(D)の整備により改善しています。

1. (A)相対的欠格条項 (B)聴覚障害者 (C)平和条約 (D)国内法
2. (A)絶対的欠格条項 (B)難聴者 (C)国際条約 (D)体制
3. (A)相対的欠格条項 (B)精神障害者 (C)国際条約 (D)体制
4. (A)絶対的欠格条項 (B)精神障害者 (C)障害者権利条約 (D)国内法

15 次の文は、要約筆記事業の位置づけについて述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

(A)、手話通訳事業が社会福祉法の(B)として法定化されたことにより、要約筆記事業も同様の位置づけとなりました。これは要約筆記事業が(C)になったことを意味します。社会福祉法では「手話通訳事業」との記載ですが、(D)、厚生労働省令とたどると、ここに要約筆記が含まれています。

1. (A)2000 年 (B)第二種社会福祉事業 (C)社会福祉サービス (D)身体障害者福祉法
2. (A)2015 年 (B)第一種社会福祉事業 (C)保険サービス (D)障害者基本法
3. (A)2010 年 (B)第三種社会福祉事業 (C)支援サービス (D)障害者総合支援法
4. (A)1999 年 (B)第二種社会福祉事業 (C)社会福祉サービス (D)障害者総合支援法

【要約筆記(技術)について】

16 次の文は、「要約」の定義について述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「『要約』とは原文の内容の(A)を変えずに、より(B)文字数で表現する(C)行動」

1. (A)要旨 (B)少ない (C)文字
2. (A)主旨 (B)短い (C)言語
3. (A)要旨 (B)短い (C)言語
4. (A)要点 (B)短い (C)文字

17 要約筆記の重要な要素として要約筆記の三原則「速く、正しく、読みやすく」がある。このうち「速く」の意味するものとして間違っている内容を、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1. できる限り急いで文字を書く、または入力速度を上げる技術が要求される。
2. 聞いた話の内容を記憶として保つため、話に追いつく聞き方が大切である。
3. 参加を保障する上で必要である。
4. 「速く」を実現するためのテクニックの1つに「そぎ落とし」がある。

18 要約技術を使った置き換えとして適切なものの組み合わせを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

ア. この機材は使うことができます。→この機械は使用可。

イ. 耳鼻科で診察を受けた。→耳鼻科で受診。

ウ. 前回に比べて大きく変わったということが言えるだろう。→前回に比べて変わっていない。

エ. 準備が不十分だが、成功するだろうか。→準備不足で失敗。

1. アとイ
2. イとウ
3. アとウ
4. ウとエ

19 置換および文末処理について述べた文の中で正しいものを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 丁寧体である常体から普通体である敬体にすることで、文末を早く完結させることができる。
2. 体言止めは漢語表現と組み合わせることで、話に追いつく幅が大きくなる。
3. 助詞止めは複数解釈できる場合に、効果的に話し手の意図を伝えることができる便利な方法である。
4. 団体や施設の略称の使用は、利用者層によっては伝わらないこともあるので、できるだけ控えたほうがよい。

20 同時性の考え方について述べた文の()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「話は、聞き取った時点で、まず(A)記憶域に転送される。そこで意味をとらえて(B)記憶域に転送され、話を認識する。」

1. (A)短期 (B)長期
2. (A)短期 (B)感覚
3. (A)感覚 (B)短期
4. (A)感覚 (B)長期

21 日本語の語順を主語(S)目的語(O)述語(V)で表した時の、正しい語順を下記の1～4の中から一つ選びなさい。

1. OSV
2. SVO
3. SOV
4. VOS

22 次の文は、「文章要約の考え方」について述べています。最も適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 「大意」は段落ごとにまとめたものである。
2. 「要旨」は全文の縮小相似形になるようにまとめたものである。
3. 「大意」は文章内容に見出しをつけたものと考ええると良い。
4. 「要旨」は原文の3分の1程度で、要約の型では骨格法にあたるものである。

23 要約文にあらわれる表現について述べたAおよびBの文について、下記の1～4のうちから正しいものを1つ選びなさい。

ア.「推論」とは、もとの情報にないものを補い、要約文に不足する表現を加えることである。

イ.「抽象表現」では、下位概念にある複数の語句を、より抽象度の高い上位概念の語句にする方法がよく使われる。

1. アのみ正しい。
2. イのみ正しい。
3. ア・イいずれも正しい。
4. ア・イいずれも誤り。

24 ノートテイクの留意点について述べた文章を読み、最も適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 利用者の隣で数時間共に過ごすことになるため生じる親密な感情を大切にし、人間関係に重点を置く。
2. 全体投影に比べて視線移動が少ないため、書くこと(あるいは入力すること)に集中するように心がける。
3. 全体投影での使用機器に比べると、日常生活で使うものに近い感覚になる。このため、利用者にも力を抜いてもらうため、気軽にできる感覚を大切にする。
4. チームで行う全体投影での情報保障と違い、ひとりで完全に伝える点で、要約筆記者としての責任はより重くなる。

25 1948年の国立国語研究所(当時)の調査による、高校生15人の平均の理解語彙数として、正しいものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1. 約3千語
2. 約8千語
3. 約3万語
4. 約10万語

【要約筆記者のあり方】

26 次の文は中途失聴・難聴者の臨床心理と支援者として必要なことを述べています。()に当てはまる言葉の組み合わせとして正しいものを一つ選びなさい。

聴覚障害者のメンタルヘルスのキーポイントは「(A)をいかに保てるか」につきます。

健常者として見られたいと言う気持ちは(B)になるほど強い傾向があります。

派遣現場で問題行動が見られたり、兆候を感じたり、心理的危機状態などが感じられる場合は(C)ことが大切です。

1. (A)依存心 (B)重度聴覚障害者 (C)何もしない
2. (A)心の安定 (B)ろうあ者 (C)本人にアドバイスする
3. (A)平常心 (B)軽度難聴者 (C)傾聴にとどめ、誰にも言わないでおく
4. (A)自尊心 (B)軽度難聴者 (C)派遣元へ報告・連絡・相談する

27 次の文は、要約筆記者に必要とされる心構えについて述べています。下記の 1～4 の中から間違っているものを 1 つ選びなさい。

1. 中途失聴・難聴者のコミュニケーション状況や手段に気を配り、周囲との関係性も見ておきます。
2. 要約筆記技術向上にむけてたゆまぬ努力が必要です。現場に出て練習を重ねることができれば、日常的なトレーニングは不要です。
3. 「要約筆記は通訳部分と対人支援の視点があって行われる」ことのへの自覚を持つことが大切です。
4. 「要約筆記は派遣事業の一環として行われている」という意識を持つことが大切です。

28 次の文は、要約筆記者の倫理綱領前文にある 4 つの宣言について述べています。下記の 1～4 の中から間違っているものを 1 つ選びなさい。

1. 私たちは、すべての人の尊厳を認め、かけがえのない存在として一人ひとりを尊重します。
2. 私たちは、通訳現場における秘密の保持を絶対の価値とする倫理観を持って行動します。
3. 私たちは、要約筆記によるその場の通訳を確実に行うために、知識、技術の獲得にたゆまぬ努力をします。
4. 私たちは、ボランティアとして広く社会に要約筆記への正しい理解を広め、啓発に努めます。

29 次の文は、要約筆記者の専門性として 5 つの到達目標について述べています。下記の 1～4 のの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

1. 聴覚障害について理解していること
2. 「音声の文字化」という行為に対する自覚的な理解をしていること
3. 要約筆記技術をもって通訳作業を実践できること
4. 対人援助にかかわる者としての他者育成ができること

30 次の文は、社会福祉従事者としての専門性について述べています。下記の 1～4 のの中から正しいものを 1 つ選びなさい。

1. 自立度(自律度)の高い低いに関わらず中途失聴・難聴者には言語変換としての通訳(狭義の通訳行為)を行う。
2. 中途失聴・難聴者の中で、自らの障害が受容できていなかったり、自己決定の能力が弱かったり、他の障害を重複している場合があっても、要約筆記者には援助者としての役割はない。
3. ソーシャル活動の中で重視されるのが「エンパワメント」である。
4. エンパワメントの実践課程においては、困難を抱えている人の代わりに社会福祉従事者が問題解決にあたることが重要である。

【国語】

31 次の各問題の空欄に当てはまるもっとも適当な語の組み合わせを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

アクセントは(A)を単位とし、イントネーションは(B)を単位とする。「ご飯を 食べました。」の文末を下げると(C)になり、あげると(D)になる。

1. (A)文 (B)単語 (C)平叙文 (D)疑問文
2. (A)文 (B)単語 (C)疑問文 (D)平叙文
3. (A)単語 (B)文 (C)疑問文 (D)平叙文
4. (A)単語 (B)文 (C)平叙文 (D)疑問文

32 言語の活動様式の違いについて述べた文の()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

書きことばと話しことばを比べると(A)は音声の調子で感情は伝えられないが(B)の方が(C)で使われない語彙があり、豊かな内容を表現できることが多い。

1. (A)話しことば (B)書きことば (C)話しことば
2. (A)書きことば (B)話しことば (C)書きことば
3. (A)書きことば (B)書きことば (C)話しことば
4. (A)話しことば (B)話しことば (C)書きことば

33 漢字の読みについて述べた文の()に当てはまる言葉の組み合わせが適切なものを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

漢字の読みには二種類あり、古代中国の発音を日本風にして移入した(A)読みと漢字の意味とほぼ同じ意味を持つ日本語として読む(B)読みがある。

1. (A)音 (B)訓
2. (A)湯桶 (B)重箱
3. (A)訓 (B)音
4. (A)重箱 (B)湯桶

34 次の文の空欄に当てはまるもっとも適当な語を下記の1～4の中から1つ選びなさい。

世界の言語は大きく4つに分類できる。日本語はこのうち()のグループに入る。

1. 孤立語
2. 屈折語
3. 膠着語
4. 抱合語

35 表記について述べています。次の文の空欄に当てはまるもっとも適当な数字を下記の1～4の中から1つ選びなさい。

日常生活の日本語表記をカバーするために必要な漢字は()字程度である。

1. 2000
2. 4000
3. 6000
4. 8000

36 表記について述べています。次の文の空欄に当てはまるもっとも適当なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

ローマ字表記には訓令式とヘボン式があるが、タ行音をヘボン式で書くと()となる。

1. ta ti tsu te to
2. ta chi tu te to
3. ta thi tsu te to
4. ta chi tsu te to

37 日本語の文法について、下記の1～4の中から正しいものを1つ選びなさい。

1. 学校文法では助詞を付属語とし、それ以外を自立語としている。
2. 文を陳述(モダリティ)によって分類すると、平叙文、疑問文、感嘆文になる。
3. 「象は 鼻が 長い。」という文の主語は「鼻が」である。
4. 動詞のうち、目的語を必要とする動詞を自動詞、必要としない動詞を他動詞という。

38 文の構造について、下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「月が 非常に 美しい 夜に 私は 友達と 旅に でた。」

上の文の「非常に」が直接に修飾しているのは()である。

1. 月が
2. 美しい
3. 友達と
4. でた

39 日本語の音の特徴について述べています。下記の1～4の中から正しいものを1つ選びなさい。

人間が実際に発する音のことを()という。

1. 音節
2. 音素
3. 音響
4. 音声

40 母音と子音について述べています。下記の1～4の中から正しいものを1つ選びなさい。

「ヤ ユ ヨ」「ワ」の子音のことを()という。

1. 長母音
2. 母音
3. 半母音
4. 二重母音

41 日本語の音節について、下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

日本語の音節の数は112程度だと考えられているが、外来語の流入などで少し増えている。他の言語と比べて日本語の音節の数は()。

1. とても少ない
2. 比較的少ない
3. 比較的多い
4. とても多い

42 送り仮名について、下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

送り仮名の付け方(1973 年内閣告示、1981 年一部改正)によれば、次のうち正しい送り仮名は()である。

1. 申込み書(もうしこみしょ)
2. 字引(じびき)
3. 喜こばしい(よろこばしい)
4. 合い図(あいず)

43 外来語について、下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

外来語のうち、ポルトガル語由来の語にはパン、()などがある。

1. ガーゼ
2. イクラ
3. タバコ
4. ゴム

44 下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

漢字使用の負担軽減や利便性を考えて、政府は使用する漢字の制限を行ってきた。

その制定の順序は古い方から順に()である。

1. 当用漢字表⇒常用漢字表⇒教育漢字 ⇒人名用漢字
2. 常用漢字表⇒当用漢字表⇒人名用漢字⇒教育漢字
3. 当用漢字表⇒常用漢字表⇒人名用漢字⇒教育漢字
4. 教育漢字 ⇒常用漢字表⇒人名用漢字⇒当用漢字表

45 下記の文を読んで、()に当てはまる適切な組み合わせを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「現代仮名遣い」(1986 年内閣告示)によれば、2語の連合であっても、そのことを意識しなくなったものは、たとえば(A)・(B)と表記するのを本則とする。

1. (A)せかいじゅう (B)いなづま
2. (A)せかいちゅう (B)いなづま
3. (A)せかいじゅう (B)いなずま
4. (A)せかいちゅう (B)いなづま

46 下記の文を読んで、()に当てはまる適切な組み合わせを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「現代仮名遣い」(1986 年内閣告示)によれば、鼻血・三日月は連濁して(A)・(B)と表記するのが特例となっている。

1. (A)はなぢ (B)みかづき
2. (A)はなぢ (B)みかづき
3. (A)はなじ (B)みかづき
4. (A)はなじ (B)みかづき

47 次の文の下線部を漢字で書いた場合、適切なものを、下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「拘束状態をかいほうする。」

1. 解法
2. 開放
3. 解放
4. 介抱

48 語の組み合わせが同義語でないものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

1. あすーあした
2. 白ー無色
3. 本ー書物
4. つかれるー疲労する

49 下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

「公用文における漢字使用等について」(1981 年)によれば、原則として漢字で書くものとして代名詞(彼・彼女など)、副詞(必ず、少しなど)と「大きな」「去る」などの()が挙げられている。

1. 形容詞
2. 名詞
3. 連体詞
4. 助詞

50 下記の文を読んで、()に当てはまる適切なものを下記の1～4の中から1つ選びなさい。

オ列長音のうち、おおかみ(狼)のように「お」を添える語にはこおり(氷)や()がある。

1. しんぞお(心臓)
2. たいそお(体操)
3. そおしゅん(早春)
4. ほのお(炎)